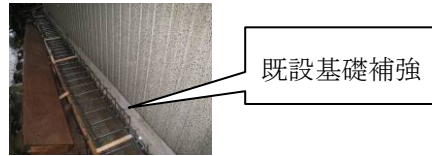


佳作

【工法の種類】 構造用合板及び筋交による耐力壁、鉄筋コンクリート基礎、接合部金物取付

【応募者名】 吉村紳 一級建築士事務所



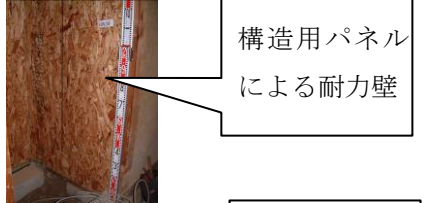
既設基礎補強



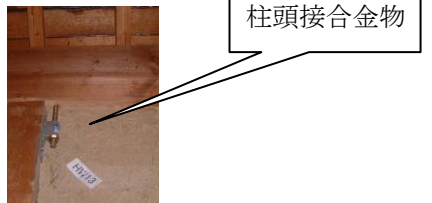
新規基礎増設



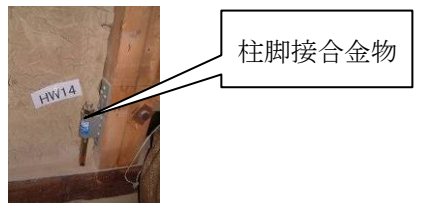
新規基礎増設



構造用パネルによる耐力壁



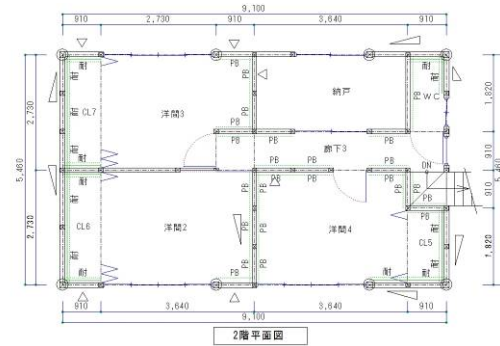
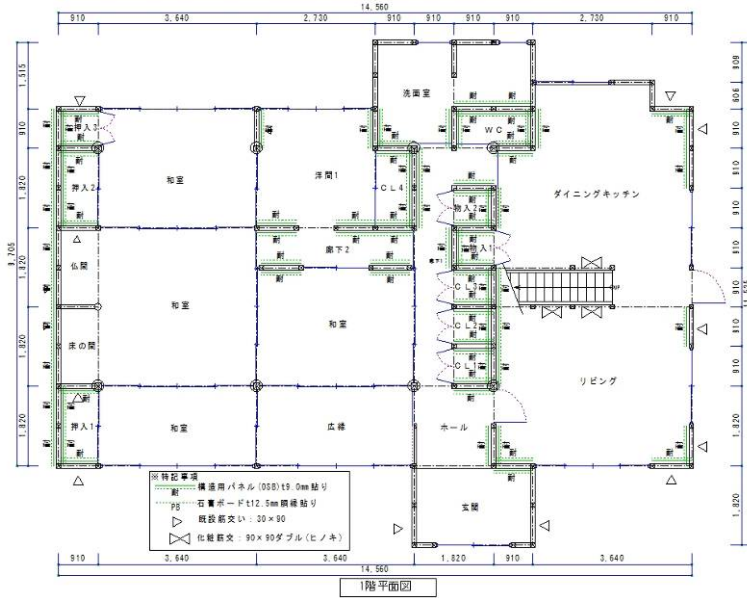
柱頭接合金物



柱脚接合金物



間取りの変更に伴う耐力壁の増設



耐力壁を増設した玄関と廊下廻り



間取りを変更した和室廻り



改修前	X方向	Y方向	改修後	X方向	Y方向
2階	0.43	0.46	2階	1.68	1.95
1階	0.28	0.33	1階	1.19	1.17

構造を表しにして意匠的にした耐震補強



- 工事費(耐震工費用)11,170,000 円
- 工事期間：3 ヶ月
- 主な補強方法
 - 構造用パネル(OSB)と筋交による既存壁の補強
 - 構造用パネル(OSB)と筋交による新規耐力壁の増設
 - 既存基礎に鉄筋コンクリート製基礎による補強
 - 新規鉄筋コンクリート製基礎増設による補強
 - 柱頭・柱脚接合金物による補強

■ 補強方法のコンセプト

耐震補強工事をしてよかったと実感してもらえるにはどうすればよいかを考えて、現状の間取りを残しつつも大幅に間取りや内装を変えるプランを立てました。

打合せの中で現状の問題点を挙げてもらい、現在の間取りに対して使いづらく、家の中が暗い等の間取りに対して大きな不満を持っていたので、その問題点が改善できるような間取りの変更に絡めて耐震補強計画を立てました。

日常生活においてあまり意味をなさない田の字型の和室の中に廊下を設けて各部屋のプライバシーを確保し、玄関ホールも広がっただけで物で溢れていたのを細かく収納を作り各用途ごとに物を収納するようでした。この部分は2階外壁の直下部分に当たり、もともと壁がなくバランスが悪かったのをこの細かく作った耐力壁が2階外壁直下に配置されることにより、バランス良く耐力壁を配置することができた。

階段室を挟んで台所と居間に分かれて暗かった室内も、階段を含めた一体のLDKにし、階段室にあわせて天井をあげたことにより、今まで隠れていた小屋組が表しとなり、また階段廻りの筋交を表しとすることで室内に開放感と力強さが生まれ、魅せる耐震補強工事となった。

今まで数々の耐震補強工事をしてきましたが、ただ耐震補強して元通りにしては心の底から喜んでもらっている実感がありませんでした。補強+αの要素を考え、喜んでもらえることを前提に補強計画を立案したので耐震補強工事をしてよかったと思ってもらえることができました。このワクワクする耐震補強工事が今後の耐震化アップのきっかけになればいいと思います。

【講評】

昭和55年建築、延べ面積約180m²の2階建て純和風住宅を大規模に耐震補強し、1階で0.3程度であった耐震性能を約1.2に改善するとともに、現代和風住宅として再生した好事例である。リビングダイニングキッチンの補強部材（化粧筋かい）に意匠性を持たせ美しく仕上げられている点、上部構造の補強に加えて基礎も全面的に補強・新設されている点をとくに評価し、佳作に選出した。